

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・中郷区総合事務所の職員体制について
- ・令和6年度 中郷区における主な事業について

（2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

（3）その他（公開）

- ・第6期 中郷区地域協議会委員への引継書について

3 開催日時

令和6年4月22日（月） 午後6時から午後6時55分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、陸川昇一、陸川陽一、欠席2人
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長、丸山市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、高橋産業建設業務窓口班長、丸山産業建設業務窓口班副主査、早川税・市民生活班長、

渡部福祉班長、加藤福祉班主任、野坂教育・文化班長（以下、グループ長はG長と表記。）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認を宮川昇藏委員と陸川昇一委員に依頼。

報告に移る。報告事項の1つ目、中郷区総合事務所の職員体制について、事務局に説明を求める。

【高波所長】

4月1日付け人事異動に伴い、中郷区総合事務所の職員体制が変更となった。世帯数減少により、税・市民生活班の職員が1名減員となったが、引き続き地域協議会と協働で進む。今回異動した職員から自己紹介する。

【丸山G長、渡部班長、高橋班長、加藤主任、丸山副主査】

自己紹介、異動の挨拶。

【竹内（靖）会長】

地域協議会のみならず、中郷区の住民のためにご尽力いただきたい。

報告事項の2つ目、令和6年度中郷区における主な事業について、事務局に説明を求める。

【加藤次長】

資料No4を基に説明。

【竹内（靖）会長】

事務局の説明について、質疑はないか。（なし）

我々が自主的審議を続け提案した地域独自の予算事業含め、委員の皆さんと一緒に地域の課題解決につながるように協力していきたい。

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料 No1-1、1-2、1-3、2、3 を基に説明。委託先の中郷区さとまる学校と車両確保及び参加者の調整をする中で、早く検証を始めることを優先し、中郷区型コミュニティバス検討委員会での協議前、地域協議会への報告前であったが、1 回目の検証運行を 4 月 20 日に行った。報告なく実施に至ったことをお詫び申し上げます。想定より早く実施できる状況が整ったことによるものであり、了承いただきたい。

【竹内（靖）会長】

（中郷区さとまる学校理事長の立場で）1 回目の運行が検討委員会での協議前の実施となったことをお詫び申し上げます。参加者への聞き取りは、移動中ではなく、実施後に場を設けて行い、私も同席した。中郷区内の歯医者を利用している人が多いと想定していたが、妙高市新井の歯医者を利用している人が多かった。通院後に買い物に行くことが多いということも聞き取った。予約が面倒であるため、定時便の運行を求める声が大多数であった。

検証実施により利用者が特定されていくため、個人情報の扱いに留意したうえで個々の実態を記録した個人カルテのようなものを作成し、令和 7 年度からの互助による運行に備えることにしたい。

互助による輸送のスタートまで逆算すると、スケジュールがかなりタイトである。互助による輸送の実施団体として見込まれる中郷区まちづくり振興会と一緒に協議を進めていく。

【高橋（京）副会長】

個人カルテを作成するという考え方は、乗る人にとっては有難いことだと思うので綿密に進めていただきたい。

【高橋（達）委員】

資料 No3 について、地域協議会が協議するべきところは何なのか、整理してもらえると良い。地域協議会で協議をするにあたって、情報収集時間も考慮のうえ明確にしていきたい。

聞き取りでは、わがままな意見も出てくると思うが、それにどう対応するかも肝になる。

【竹内（靖）会長】

民生委員児童委員からあげてもらった対象者には中郷区さとまる学校から連絡を取っている。地域協議会委員の皆さんからも、実態調査の聞き取りのため、同乗の依頼をすることを想定している。

令和 7 年度からの互助による輸送の運行主体は現時点では確約が取れている状況にない。11 月の運転手講習会には間に合うように、実施団体候補の中郷区まちづくり振興会と協議を詰める。

【陸川（陽）委員】

資料 No1-3 について、「どうしたら公共移動サービスを使ってくれるか」といったはっきりと聞く文言がよいのではないか。

【竹内（靖）会長】

陸川（陽）委員の意見も参考に、今後も情報共有しながら進めていく。

本日の協議は以上である。

委員、職員から発言はないか。（なし）

その他に移る。

【桐山班長】

第 6 期中郷区地域協議会委員への引継書の確認。前回の協議後から修正はない。継続する委員は内容を今一度確認いただき、退任となる委員は引継ぐ側として保管いただく文書となる。

【竹内（靖）会長】

この引継書を基に次期委員へバトンをつなぐ。5 月 8 日に地域協議会委員任命書交付式が行われる予定である。出来るだけ参加いただきたい。

【桐山班長】

任命書交付式について、正式な案内が遅れ申し訳ない。全委員の出席を求める予定である。案内文書が用意でき次第、早急に案内する。

【竹内（靖）会長】

次回の地域協議会についても、定期的な曜日、時間で開催としたい。新たな地域協議会委員にも相談する。第 6 期 1 回目の地域協議会は、パワーポイントを活用し、勉強会的に行うことを検討している。資料は事務局と相談しながら作成する。次回は、暫定的に 5 月 27 日 18 時から開催とする。

【桐山班長】

配布物の確認

【竹内（靖）会長】

第 5 期地域協議会委員で開催する最後の会議であるため、各委員から一言ずつ感想を求める。

【宮川委員】

地域協議会委員をはじめ、地域から様々な意見を聞き、勉強になった。

【陸川（昇）委員】

これからも協議を重ね、新しい方向に進めるよう活動していきたい。

【陸川（陽）委員】

今まで見えていなかった「中郷区」が見えてきたように感じた。

【竹内（昭）委員】

地域に密着した内容を今後も一緒に考えていきたい。

【高橋（達）委員】

スムーズに次の担い手にバトンタッチすることを目標に次期も頑張りたい。

【岡田委員】

令和 7 年度からの互助による輸送の実施団体候補である中郷区まちづくり振興会の立場で参加していることも踏まえ、次期も協議していきたい。

【漆間委員】

自分の目が中郷区外に向いていたが、委員の皆さんの中郷区愛に感心した。今後も応援している。

【荒川委員】

長いようで短い 8 年間であった。引継書があることで次期委員もスムーズに活動できると思う。

【高橋（京）副会長】

様々なことを知り、委員と顔つなぎができ、大きい収穫であった。地域協議会が中郷区の「しゃもじ」となり、地域をかき混ぜていただきたい。

【竹内（靖）会長】

発言しやすい地域協議会となったのは、心を許しているからこそできたことである。行政とタッグを組んで取り組むスタンスは変えずに進んでいく。いつでも声を出していただきたい。

【高波所長】

今期の委員は次長として選任にも携わり、実行に移せる地域協議会にしたいという思いから追加選任をした。充実した地域協議会であったと思う。

【竹内（靖）会長】

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。